

１ 社会・治安情勢

- （１）２０２１年７月から９月にわたり、新型コロナウイルスの拡大に伴う厳重な社会隔離が実施された影響もあり、犯罪や交通事故の発生は幾分抑制された感があるものの、隔離緩和後に経済的に苦境に立たされた者が、犯罪に走るケースが散見されている。
- （２）強盗、薬物、人身売買など重大凶悪事件の発生や検挙が日々報道されており、特に薬物関係の事案はハノイ市内及び周辺部でも散見されるようになっている。
在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置き引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が多く寄せられており、特にバイクを利用してスマートフォンをひったくる形態の犯罪が続発している。
- （３）当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１）ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から、ハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。（２０２２年１月～３月実績。※（ ）内の数値は２０２１年１０月～１２月実績。）
 - 【刑法犯関係】※コロナ情勢に伴う厳しい社会隔離実施のため大幅減
 - ア 刑法犯発生件数 : 684件（740件）
 - イ 刑法犯検挙人数 : 1075人（751人）
 - 【交通事故関係】
 - ア 交通事故発生件数 : 176件（238件）
 - イ 交通事故死亡者数 : 92人（101人）
 - ウ 交通事故負傷者数 : 83人（168人）
- （２）邦人被害事案（主なもの）
当地において「日本人街」と呼ばれるキンマー地区において、夜間配車アプリでタクシーを呼ぶために携帯電話を操作中、近寄ってきたバイクに乗った犯人から、手に持っている携帯電話をひったくられる被害が多発している。

３ テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は認知していない。

４ 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

５ 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生（当館把握分）は認知していない。